

去ぬワシを救え！

魚切建輝
川崎友生
谷合達彦
見浪哲史

新聞記事

イヌワシ：保護へ啓発ラボ 酒田・猛禽類保護センター、地域と連携し写真など展示 ／山形
2013.02.22 毎日新聞 地方版／山形

鳥海イヌワシ未来館の愛称を持つ酒田市草津湯ノ台の「猛禽（もうきん）類保護センター」が、同市中町1の「さかた街なかPR館」で、イヌワシの写真などを展示した「酒田イヌワシラボ」を開いている。絶滅が心配されるイヌワシの保護啓発が目的。地域の環境保護団体と連携した展示は00年のセンター開設以来初めてという。【佐藤伸】

イヌワシは、同じく絶滅が心配されるクマタカと同様「森林生態系ピラミッド」の頂点に立つが、生息環境は厳しさを増している。ダムや林道、風力発電といった巨大公共事業による環境改変や人工林荒廃などで81年に50%近くあった繁殖率は約10年後には約20%に低下、96年以降はさらに悪化し20%を下回ることも多くなった。種を維持するためには30%以上の繁殖率がないと難しいとされる。

イヌワシは現在、鳥海山で2つがい4羽、県内では21つがい42羽が確認されている。

会場には生態系ピラミッドの模型や狩りの仕方などイヌワシに関するパネルや模型などを多数展示している。希少動物調査会や猛禽類保護ネットワークなど地元で活動をする4団体の撮影した写真などもあり、イヌワシ保護に多くの市民が関わっていることが見てとれる企画展になっている。

実物大のイヌワシとクマタカの模型も展示。またイヌワシの着ぐるみ「ワッシーくん」も不定期で登場。日曜日には猛禽類ハチクマの好物、ミツバチの巣を使っとうそく作り教室もある。この他、地元菓子店が作る「イヌワシ玉子」が割安で買える（不定期販売）。

同センターの長船裕紀自然保護専門員は「市の鳥でもあるイヌワシを知ってもらい、保護につなげたい」と話している。28日まで。

記事要約

- ◎ 近年イヌワシの繁殖率が低下している
- ◎ 酒田市草津湯ノ台で保護啓発を目的とした「酒田イヌワシラボ」を開催
- ◎ パネルや模型などを多数設置

山形県酒田市

- ◎ 山形県北西部、最上川の右岸に位置
- ◎ 総人口 110,823人
- ◎ 面積の約63%が山林
- ◎ 庄内平野が広がり国内有数の穀倉地帯
- ◎ 県内唯一の重要湾港である酒田港



イヌワシについて①

- ◎ タカ目タカ科イヌワシ属
- ◎ 英名 Golden Eagle
- ◎ 体長 75—85cm
- ◎ 生息地 北海道から九州の山岳地域
- ◎ 現在の推定生息数は約500羽



イヌワシについて②

- 餌はヤマドリ、ノウサギ、テンなど
- 森林生態系の頂点に立つ
- 天狗の由来？
- 1993年～希少野生動物種
- 1998年～絶滅危惧 I B類



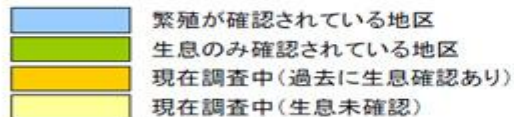
<http://masahito-t.jugem.jp/?eid=275>

猛禽類保護センター

- 猛禽類：鋭い嘴と爪を有し他の動物を捕食する鳥類（ワシ、タカ、フクロウなど）
- 山形・秋田県境の鳥海山の南麓に設置
- 猛禽類を対象に調査研究、保護推進、普及啓発を行う拠点

イヌワシの生息分布

日本におけるイヌワシの生息分布（2010年現在）



1ペアのみ確認、
近年幼鳥の巣立
ちはなし

近年の繁殖記
録なし

過去に生息の記録はある
が、近年は生存が確認さ
れていない

日本イヌワシ協会HPより(最終閲覧日2013.4.15)

<http://srge.info/about-ge>

個体数減少の要因

- ◎ 餌不足

ノウサギ・ヤマドリetc...の減少

- ◎ 生息環境の悪化

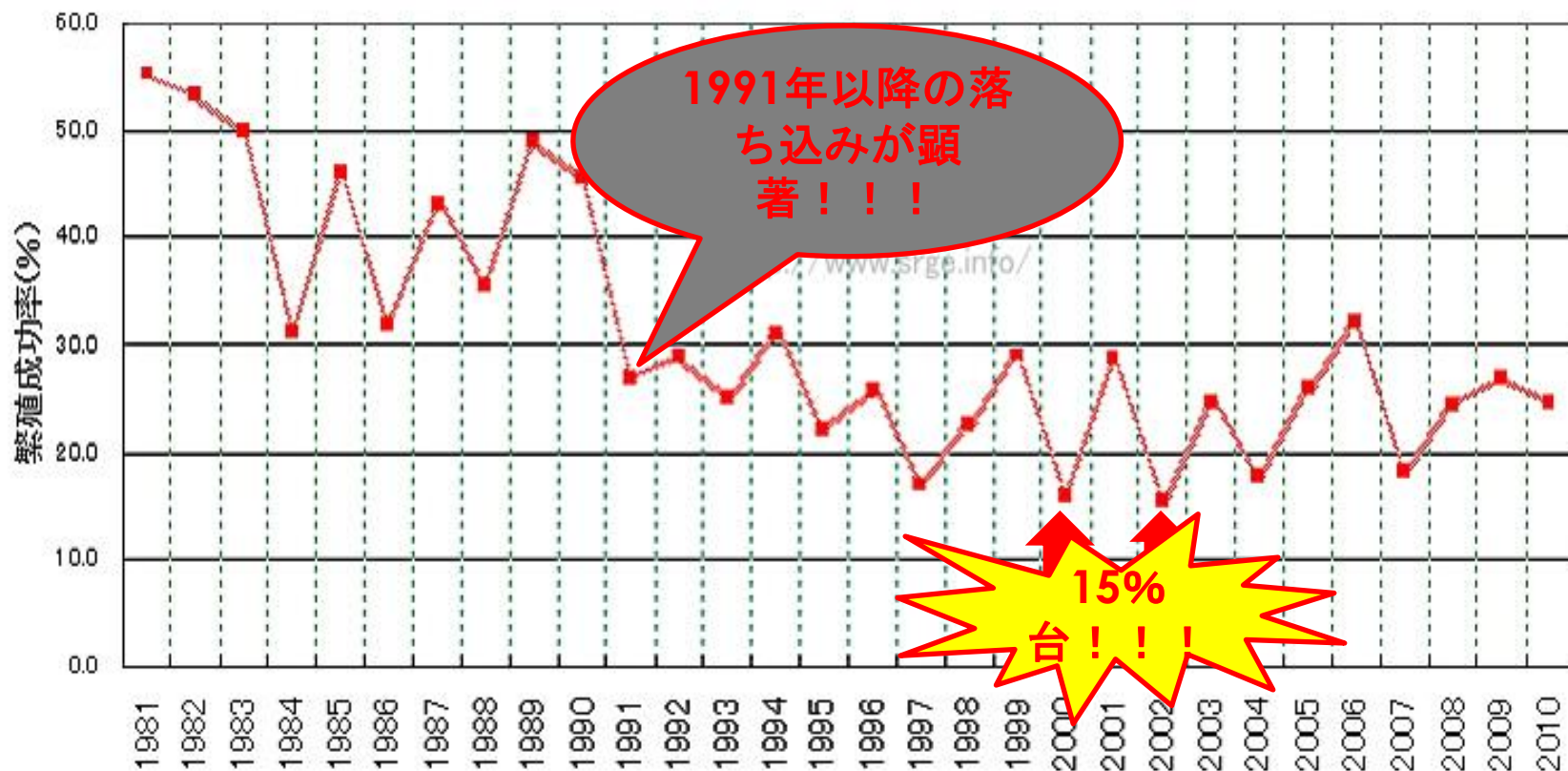
ダムや高圧送電線の鉄塔、スキー場、騒音

- ◎ 狩場環境の現象

茅場の減少、人間活動の増加

繁殖成功率の低下

ニホンイヌワシの繁殖成功率の変化



日本イヌワシ協会HPより(最終閲覧日2013.4.15)

<http://srge.info/about-ge>

保護の取り組み

AKAYAプロジェクト

- ◎ 植生管理
- ◎ 猛禽類モニタリング
- ◎ 哺乳類モニタリング
- ◎ 溪流関係復元
- ◎ 環境教育



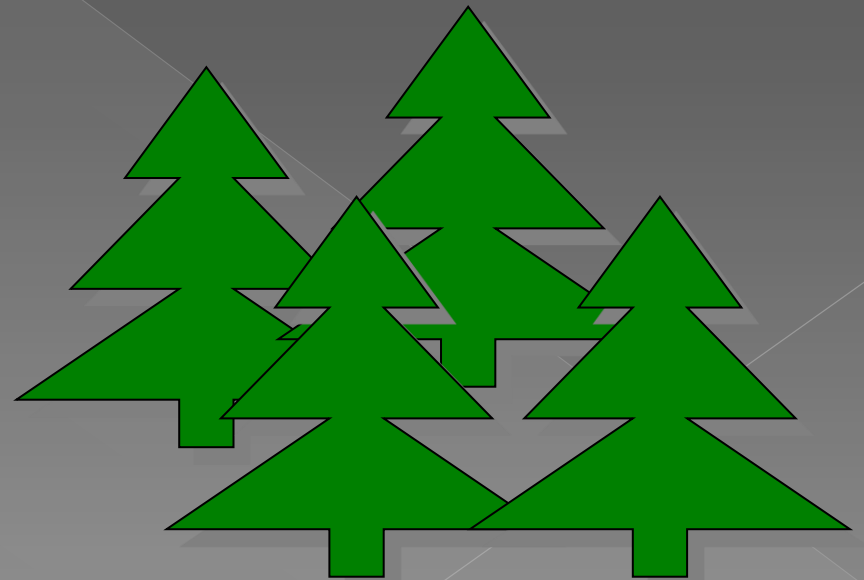
保護の取り組み

保護増殖基本計画

- ◎ 繁殖阻害要因の現状とその分析
- ◎ 巣の点検および補修
- ◎ 死亡原因調査と残留環境汚染物質の実態調査
- ◎ ヒナの移入事業（里子作戦）

現状の問題点

- ◎ イヌワシに関する調査が不十分
- ◎ 森林管理の不足
- ◎ 知名度の低さ



解決策

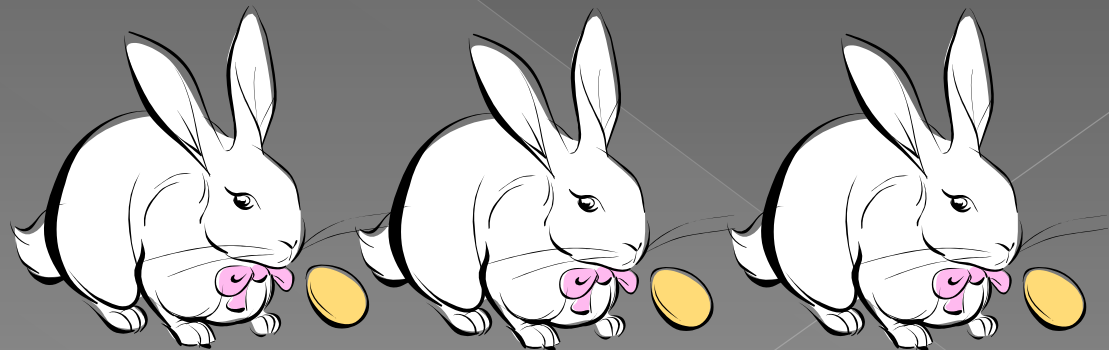
- ◎ 生息域における間伐

→ノウサギなどのイヌワシの餌になる個体が増える

開けた土地で狩りをするため、狩りの場も確保できる

- ◎ 調査の進行

- ◎ 知名度の向上



間伐について

- 間伐の方法は列状間伐が有効であると考えられている
- 列状間伐とは一定の幅を決め、その幅の木をすべて伐採する方法

→イヌワシは等高線に沿って飛行し、餌をとるため、等高線方向列状伐採が有効であるとされている



http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/sy o/sanrikutyubu/torikumi/hogokanrijigyou/kisyoyaseidousyokubutususyuhogokanrijigyou_syoukai.html

伐採の費用の試算

- 列状伐採の費用は平成 19 年で、場所や条件によって異なるが、 1 m^2 あたり約 400 円
- 現在は機械、技術の成長により、コストが削減されたと考えられるので 200 円と仮定する。
- この 200 円には調査、小運搬なども含む。

伐採費用の試算

- ◎ 仮に列状間伐の範囲を幅 5 m、長さ 5 0 m とすると
- ◎ $5 \times 50 = 250 \text{ m}^2$
- ◎ 1 m^3 あたり 2 0 0 円なので
- ◎ $200 \text{ 円} \times 250 \text{ m}^2 = 50,000 \text{ 円}$
- ◎ 一か所につき 5 列、3 0 か所行うとすると、
- ◎ $50000 \times 5 \times 30 = 7,500,000 \text{ 円}$
- ◎ さらに落葉樹等を植林する場合はより高くなる . . .

保護のために

- 列状伐採を各生息地周辺において行っていくことが必要
- さらに伐採を進めていくために・・・



資金が必要！

人工林の伐採という解決法
→膨大なコスト

山形県的生活環境部
生物多様性対策事業費

約550万円

山形県ホームページ

<http://www.pref.yamagata.jp/>より

(最終閲覧2013.4.15)

政策提言

イヌワシの動物園へのレンタル

地方の自治体が全国の動物園や飼育施設にイヌワシを有料で貸し出す。

動物レンタルの例

2011年
上野動物園
パンダ



約8000万円／年

パンダの経済効果

- 入園料一般600円
- 平均来園者数約300万人強
- 2011年来園者数約470万人
- 有料来園者：無料来園者
= 1 : 1

公益財団法人 動物園協会 <http://www.tzps.or.jp/business/>
より(最終閲覧2013.4.16)

$600\text{円} \times (470\text{万人} - 300\text{万人}) \div 2 = 5\text{億}1\text{千万円}$

この他にもパンダの関連商品による利益

レンタルのメリット

地方自治体

- レンタル料による収入
- 知名度の上昇

動物園・飼育施設

- 近親交配・相性不一致の回避

レンタルのデメリット

自然のイヌワシを人口で育てるので、
自然界のイヌワシが減り、
施設のイヌワシが増える

→イヌワシを自然に返す努力が必要

まとめ

- イヌワシの数は減少傾向にある
エサ不足・生息環境悪化
- 列状間伐によるエサ不足の解消・狩場の確保
- レンタルによる財源確保・知名度上昇

参考文献

- 日本イヌワシ研究会オフィシャルサイト <http://srge.info/>
- 猛禽類保護センター <http://www.raptor-c.com/>
- 酒田市ホームページ <http://www.city.sakata.lg.jp/>
- AKAYAプロジェクト <http://www.nacsj.or.jp/akaya/index.html>
- 山形県ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/>
- 公益財団法人 動物園協会 <http://www.tzps.or.jp/business/>
- 東北森林管理局 <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>
- 北上高地のイヌワシと生物多様性保全を目的とした等高線方向列状間伐の効果（経過報告）
http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/sidou/pdf/h22_15.pdf
- 列状間伐のここが知りたい！
<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/88906.pdf>